

栃木県労働基準協会連合会

平成26年11月1日

発行

(一社) 栃木県労働基準協会連合会

〒321-0933 栃木県宇都宮市篠崎町1959-1 栃木県建設産業会館4階

TEL: 028-678-2771 FAX: 028-678-2775 Email: info@tochikiren.or.jp

<http://www.tochikiren.or.jp>

第15号

発行人

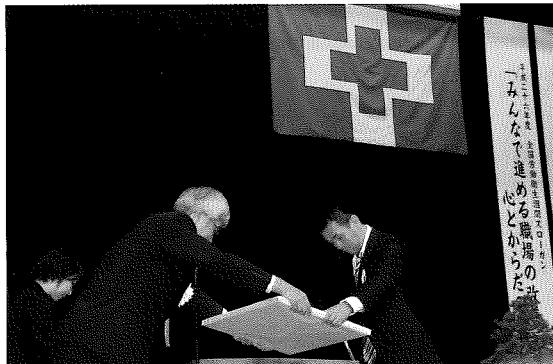
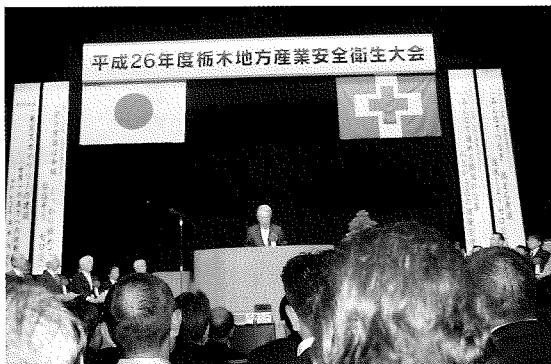
森田英二

印刷 鈴木印刷株式会社

Contents

平成 26 年度栃木地方産業安全衛生大会を開催しました。…	1	7
大会宣言…	2	8
死亡労働災害撲滅に対する緊急提言…	2	8
平成 26 年度栃木地方産業安全衛生大会 受賞者名簿(敬称略)…	3	9
緊急死亡労働災害撲滅運動実施中…	4	10
全国規模の労働災害防止団体からも「労働災害のない職場づくり」に向けた共同アピールが発表されています。…	4	11
栃木労働局からのお知らせ①…	5	12
栃木労働局からのお知らせ②～③…	6	12
栃木労働局からのお知らせ④～⑥…		7
栃木労働局からのお知らせ⑦…		8
とちぎ労基連トピックス①…		8
とちぎ労基連トピックス②～③…		9
地区労働基準協会情報…		10
平成 26 年度 産業保健セミナー予定表(12 月～2 月)…		11
平成 26 年度各種技能講習等実施計画表…		12
衛生管理者能力向上教育のご案内…		12

平成26年度栃木地方産業安全衛生大会を開催しました。



平成 26 年 10 月 7 日、宇都宮市文化会館小ホールにおいて、平成 26 年度栃木地方産業安全衛生大会を開催いたしました。大会は、栃木労働局・及び各労働基準監督署が主唱し、県内各労働災害防止団体が主催したもので、県内各地から、約 500 名が参加しました。

開会に先立ち、労働災害で殉職された方々に対し、参加者一同で黙とうを捧げました。

高梨道太郎建設業労働災害防止協会栃木県副支部長が開会のことばを述べたのち、藤澤智一般社団法人栃木県労働基準協会連合会長が主催者を代表して挨拶し、「労働災害は長期的には減少しているが、本年に入り死亡災害が前年比で大幅に増加していることから、この大会を契機に、より安全な職場づくりに一層のご尽力をお願いする」と訴えました。次に堀江雅和栃木労働局長が主唱者として挨拶し、死亡災害が急増しており、各労働災害防止団体に緊急の取組みをお願いしているが、「栃木県内には、仕事をしていく上で労働災害の発生や健康被害はやむを得ないなどと

考えている人は一人もいない」と述べ、今後の取組みに期待を示されました。

第一部の表彰式では、栃木労働局長表彰、主催団体である（一社）栃木県労働基準協会連合会長表彰、建設業労働災害防止協会栃木県支部長表彰、陸上貨物運送事業労働災害防止協会栃木県支部長表彰、林業・木材製造業労働災害防止協会栃木県支部長表彰に加え、全国THP推進協議会長表彰の伝達が行われました。来賓として、栃木県知事（代理）、一般社団法人栃木県経営者協会長、日本労働組合総連合会栃木連合会長（代理）のご臨席を賜り、来賓の皆さまからご祝辞を賜りました。

第一部の終わりに大会宣言の朗読に引き続き、今回は栃木県内において死亡労働災害が急増していることから、栃木労働局長の「緊急提言」が栃木労働局小野里八郎労働基準部長から読み上げられ、参加者一同死亡災害の撲滅に向け誓いを新たにしました。

休憩後、一般財団法人日本健康財団のインストラクターの指導により、ストレッチ体操を行い体をほぐしました。

第二部では、初めに「栃木労基署管内の『安全宣言』運動！」と題して、栃木地区安全管理者研究会の前代表幹事の関根明氏（GKNドライブラインジャパン（株）栃木工場管理課長）から事例発表がありました。事例発表は、広島で開催される全国産業安全衛生大会での発表の予行演習の意味もあり、発表終了後、参加者から激励の拍手が送られました。

次に、株式会社大林組建築本部プロポーザル部課長高木浩志氏から、「『東京スカイツリーの建設』～世界一の高さへの挑戦～」と題して特別講演をいただきました。高木氏のお話では、スカイツリーは「日本各地にある五重塔の心柱を参考とした心柱制震構造となっているなど日本の伝統を受け継いでいること」「建築工事中『大震災』が発生したが、事前対策を十分施していたことにより被害がほとんどなく、大震災の一週間後に世界一の高さ634メートルに到達したこと」「建築に携わったものの全員が誇りを持って仕事に取組んだことが無災害で竣工できた最大の理由」などと述べられ、参加者一同最後まで興味深く耳を傾けていました。

大会宣言

栃木県における労働災害は、多くの関係者の、たゆまぬ努力により、長期的には減少傾向にあるものの、今なお、年間7,500人近い労働者が被災し、16人の尊い命が失われている。特に近年は、産業構造、就業形態の変化などが、労働災害の発生に大きな影響を及ぼしており、第三次産業の労働災害の割合が増加している。

一方、労働者の健康面においても、一般健康診断における有所見者の割合が五割を超える、今なお増加傾向が続いている。また、全国的には、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる人が、高い割合を占めているなど、心身両面にわたる健康問題も一層深刻化している。

いかなる時代にあっても、働く人の安全と健康の確保は、最優先されるべき課題であり、経営トップの強いリーダーシップのもと、関係者全員が一丸となって、労働災害の撲滅に向けて最大限の努力を続けていかなければならない。

そのためには、リスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステムの積極的な導入・定着を図るなど、企業の自主的な安全衛生管理活動を一層強化するとともに、過重労働対策、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策を推進し、すべての職場における安全衛生水準のさらなる向上を目指す必要がある。

ここに集結した我々は、本大会を契機に、すべての関係者が心を新たに全員の英知と力を結集し、安全で健康・快適な職場づくりに向けて、全力をあげて邁進することをここに宣言する。

平成26年10月7日
栃木地方産業安全衛生大会

死亡労働災害撲滅に対する緊急提言

平成26年に入り、栃木県内において、死亡労働災害が大幅に増加したことから、栃木労働局及び管下労働基準監督署においては、本年8月27日に県内各労働災害防止団体等に対して「死亡労働災害撲滅に向けた緊急要請」を行ったところです。

しかしながら、この取組みにもかかわらず、9月に入り二人の方が尊い命を亡くしております。

この非常事態とも言うべき状況に歯止めをかけ死亡労働災害は絶対に起こさないという強い理念のもと、労働災害のない明るい職場を作るため、「安全第一」の意味を改めて理解し、経営トップが決意を新たに事業場としてリスクアセスメント活動を展開し、労働者自らが安全衛生活動を実行のうえ、作業手順の遵守、非定常作業における安全確認、交通ルールの徹底など、労働災害防止活動の原点に立ち返り、死亡労働災害の撲滅を図ることをここに提言します。

平成26年10月7日
栃木労働局長 堀江 雅和

平成 26 年度栃木地方産業安全衛生大会 受賞者名簿（敬称略）

1 安全衛生に係る栃木労働局長表彰

優 良 賞

矢崎部品株式会社 栃木工場
GKN ドライブラインジャパン株式会社 本社・栃木工場

奨 励 賞

マ・マーマカロニ株式会社 宇都宮工場
清原住電株式会社
株式会社 清国
ミクロン電気株式会社 足利工場
ギガフォトン株式会社
株式会社 栃木日本板硝子
株式会社大谷工業 鹿沼工場
パナソニックデバイスタイル株式会社
株式会社 サンコー
クミ化成株式会社 開発センター

功 績 賞

中島 久夫 秋澤 久 高橋 昭市 吉新 旦夫

安全衛生推進賞

山村 浩司 藤田 稔

2 栃木県労働基準協会連合会長表彰

安 全 功 績 賞

田沼 孝 幸 早乙女 幸男 森 三 貴 夫 高岩 文 一 八木澤 文 享 阿部 好 男 西 東 竜 也

労働衛生功績賞

龜田 茂 原田 久 男 長島 正 典 山 閔 文 佐藤 正 樹 明 齋藤 和 夫 上塙入 伸 之

3 建設業労働災害防止協会栃木県支部長表彰

優 良 賞

日豊工業株式会社 有限会社福田建設 リクリーン総業株式会社 株式会社館林工業 吉栄工業株式会社 山越建設株式会社

功 労 賞

木澤 喜人 津布久 光

功 績 賞

佐々木 隆 関谷 規文 湯澤 重美 渡辺 好美 大橋 久也 高橋 勝久 星 政幸

4 陸上貨物運送事業労働災害防止協会栃木県支部長表彰

功 績 賞

株式会社アクティチャレンジ 有限会社セキヤレッカー 有限会社力ネキ運輸 横須賀商事株式会社 相田運輸有限会社 有限会社岡本配達 三河運送株式会社 株式会社サンコー あいば商事株式会社 有限会社アベ葬祭 有限会社川岸急便 株式会社優正トランスポート 協和株式会社 有限会社大平運送 有限会社琴寄運送 ツノダ物流株式会社 栃木県東トラック事業株式会社 株式会社ホーイン 平沢運輸株式会社石橋営業所

5 林業・木材製造業労働災害防止協会栃木県支部長表彰

安全優良事業場賞

株式会社金平 有限会社丸久木工所 共榮工業有限会社 株式会社神山商店 株式会社高山材木店 佐藤木材株式会社 有限会社風田川材木店

安全功勞賞

江田 武充 大木 信市 茂呂 健市 生井 宏和 金子 達也

6 全国THP推進協議会長表彰

優 良 賞

ボッシュ株式会社 栃木工場

株式会社 タツミ

進 步 賞

京浜精密工業株式会社 栃木工場

功 労 賞

大森 恵子

緊急死亡労働災害撲滅運動実施中

(実施期間 平成26年9月24日～平成26年12月15日)

スローガン 「まいがんべ・だろうは命取り！
も一度確認その作業」

栃木労働局・各労働基準監督署

全国規模の労働災害防止団体からも「労働災害のない職場づくりに向けた共同アピール」が発表されています。

労働災害の発生件数は、経済状況が好転する中、平成26年上半年は、全体で増加傾向にあり、特に前年同期に比べ死亡災害が大幅に増加しているなど、憂慮すべき事態となっています。

このような事態を受けて、国は、産業界全体に対して「労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請」(平成26年8月5日)を行いましたが、我々労働災害防止団体及び安全衛生関係団体は、これを重く受け止め、労働災害防止に係る専門的なノウハウを持つ専門家集団として、また、業界の労働災害防止活動の推進役として、国と連携・協働しつつ、それぞれの役割を最大限に發揮し、労働災害の増加傾向に歯止めをかけるため、次の事項に積極的に取り組むことを表明します。

1 職場内における安全衛生活動の総点検等

安全衛生の知識・経験の豊富な団体では、この専門家が事業場を訪問し、安全衛生管理の状況、設備・工程や作業方法の問題点を明らかにし、改善に必要なアドバイスを行うなど、緊急要請で求められている職場内における安全衛生活動の総点検の実施や、事業場の安全管理体制の充実について、全力でサポートします。

2 効果的な安全衛生教育の実施

労働者の就業に当たって必要な安全衛生に関する知識等を付与する安全衛生教育は、労働者の安全と健康を守る上で中核となるものです。特に、人手不足が顕在化し、企業内外での人の動きが活発化する中では、雇入れ時教育、作業内容変更時教育、職長教育等の基本的な安全衛生教育の徹底が重要です。

このため、安全衛生教育等を行う団体では、①各種安全衛生教育、資格取得のための講習等の実施、②安全衛生担当者や従業員の教育のための講師派遣、③各種教材の提供など、緊急要請で求められている効果的な安全衛生教育の実施を全力でサポートします。

3 労働災害防止に向けた気運の醸成

労働災害防止に向けた気運の醸成や安全衛生知識の普及を図るため、安全衛生大会(労働災害防止大会)、トップセミナー、研修・セミナー、各種安全衛生強調期間(月間)等の実施に当たっては、事業場のトップ、職長、安全・衛生管理者、安全衛生担当者等に広く参加を呼びかけます。

特に、多くの安全衛生担当者が集う安全衛生大会(労働災害防止大会)等については、労働災害のない職場づくりに向け決起する場と位置づけ、産業界あげての労働災害防止活動の強化につなげます。

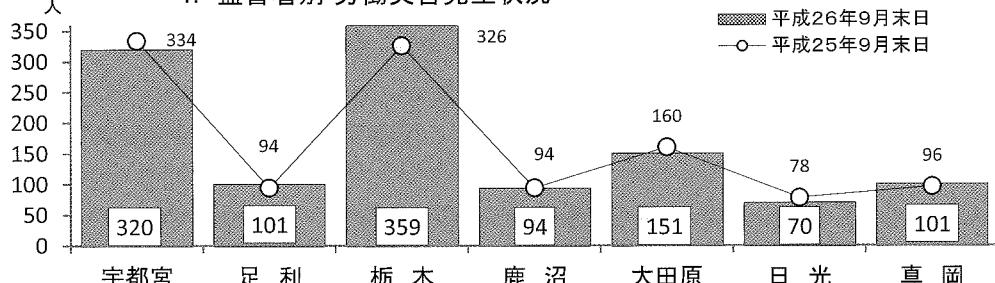
平成26年9月19日
労働災害防止団体及び安全衛生関係団体 21団体
中央労働災害防止協会
港湾貨物運送事業労働災害防止協会
建設業労働災害防止協会
林業・木材製造業労働災害防止協会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
ほか安全衛生関係団体(16団体)

栃木労働局からのお知らせ①

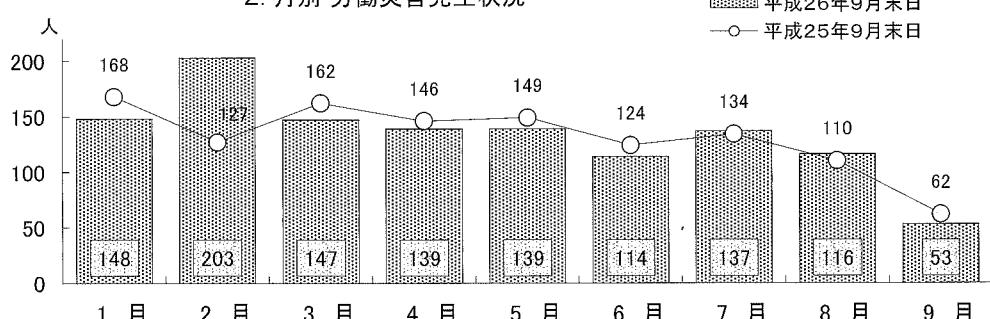
労働災害発生状況（平成26年9月30日現在）

区分	主要業種別 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷病報告書による統計で、死者数は内数である。）			
	平成25年 死傷者数	平成25年 死者数	平成26年（速報） 死傷者数	平成26年（速報） 死者数
全 産 業	1,182	9	1,196	15
製 造 業	350	1	365	2
建 設 業	168		141	4
道 路 貨 物 運 送 業	116	1	144	3
陸 上 貨 物 取 扱 業				
林 業	14		21	
第 三 次 产 業	486	5	493	4

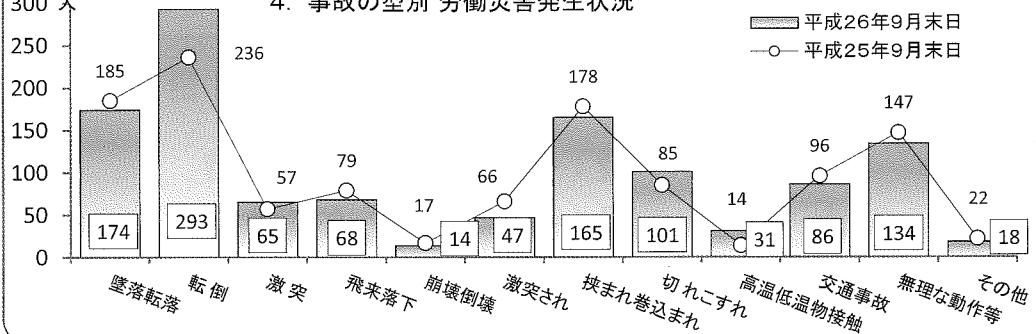
1. 監督署別 労働災害発生状況



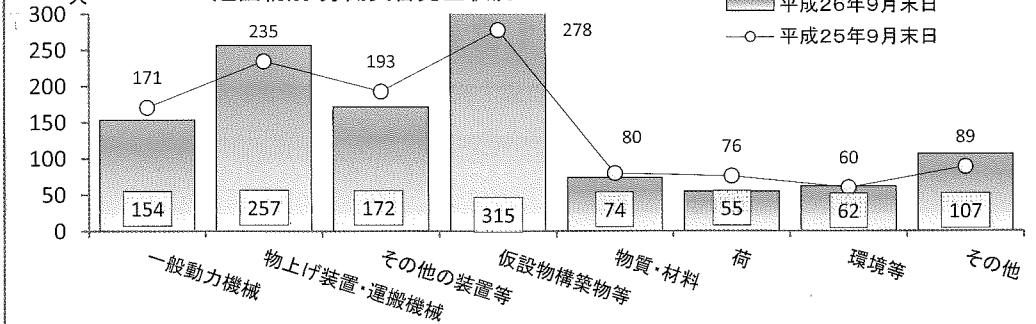
2. 月別 労働災害発生状況



4. 事故の型別 労働災害発生状況



5. 起因物別 労働災害発生状況



栃木労働局からのお知らせ②（賃金室）

確認しましょう！ 最低賃金

栃木県最低賃金が 時間額 733円 に！

— 改正発効は 平成26年10月1日 から —

栃木県最低賃金は、栃木県内の事業場で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。

一般労働者はもちろん、臨時、パート、アルバイト等にも適用されます。

なお、特定の産業には特定（産業別）最低賃金が定められています。

詳しくは、栃木労働局労働基準部賃金室（028-634-9109）

又は 最寄りの労働基準監督署 にお問い合わせください。

～～最低賃金引き上げに向けた中小企業への支援事業

「中小企業専門家派遣・相談等支援事業」「業務改善助成金」 があります ～～

必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も。

栃木労働局からのお知らせ③（監督課）

夜間・土日に無料でご相談をお受けします。

厚生労働省委託事業 労働条件相談ほっとライン

「労働条件相談ほっとライン」は、厚生労働省委託事業として労働者の方からのご相談にも、事業主の方からのご相談にも、相談員が公平・中立な立場で対応します。労働時間管理や残業代の支払いなど労働基準関係法令に関する問題については相談者の疑問を解消できるように、法令、判例などの紹介を行い、一般的な解決の方向性をご説明します。

労働基準関係法令以外の問題については、例えば、セクシャルハラスメントや民事的な相談の場合には関係する適切な相談窓口をご紹介します。

平成26年9月1日（月）～平成27年3月31日（火）

月・火・木・金：午後5時～午後10時

土　　・　　日：午前10時～午後5時

（12月6日（土）は正午～午後5時対応）

（12月29日（月）～1月3日（土）は除く）

はい！ ろうどう

【フリーダイヤル】 0120-811-610

お問い合わせ先：最寄りの労働基準監督署又は栃木労働局監督課（028-634-9115）

栃木労働局からのお知らせ④（監督課）

厚労省委託事業「労働契約解説セミナー2014」基礎セミナー／判例セミナー 栃木会場 無料セミナー開催のお知らせ

“労働契約”について、基本的な事項をわかりやすく解説するセミナーが栃木県内で開催されます。

セミナー終了後に個別に相談をお受けする機会も設ける予定です。（※時間に限りがあります。ご了承ください。）

日時：平成26年12月5日（金）
基礎セミナー 14:00～15:25（受付開始 13:30）
判例セミナー 15:35～16:45（受付開始 15:25）

会場：栃木県総合文化センター3階 第2会議室

宇都宮市本町1-8 ※駐車場の用意はありません。

JR宇都宮駅（西口）下車 バス「県庁前」下車徒歩3分、東武宇都宮駅下車徒歩10分

定員：80名 参加費無料 ※先着順、定員に達し次第〆切となります。

お申込みの詳細は、専用HP：<http://www.tokiorisk.co.jp/seminar/20140905.html> をご覧ください。

お問合せ：セミナー事務局 tel:03-3211-0621 mail:seminar.mhlw@tokiorisk.co.jp

栃木労働局からのお知らせ⑤（労災補償課）

ご存知ですか？

労災保険関係請求書及び各種パンフレットは

厚生労働省のホームページからダウンロードできます。

「労災保険給付の種類」、「社会復帰促進等事業」のパンフレットをはじめ、「業務上疾病の認定等（認定基準）」としては、いわゆる過労死といわれている「脳・心臓疾患の労災認定」、長時間労働、いじめ、セクハラ等による「精神障害の労災補償について」、及び「障害等級の認定基準」、「アスペスト（石綿）情報」なども掲載されています。

また、労災保険で使用するすべての請求書、労災指定医療機関に提出する「療養補償給付たる療養の給付請求書（第5号用紙）」、「休業補償給付支給請求書（第8号用紙）」など、すべての請求書がダウンロードできます。制度の詳細、記載例なども掲載しています。

全国の労働基準監督署、全国の労災保険指定医療機関の検索もできて便利です。

監督署には聞きにくいという方には、「労災保険相談ダイヤル」という相談窓口もあります。

御不明の点がございましたら、栃木労働局労働基準部労災補償課（電話 028-634-9118）、又は最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

栃木労働局からのお知らせ⑥（労働保険徴収室）

労働保険適用促進強化期間 11/1～11/30

『1人でも雇つたら、入ろう。労働保険。』

労働者が安心して働くよう「労働保険（労災保険・雇用保険）」の加入手続をされていない事業主の方は、労働基準監督署又は公共職業安定所で加入手続をしてください。

詳しくは、最寄りの労働基準監督署又は公共職業安定所にお尋ねください。

栃木労働局総務部労働保険徴収室

電話 028-634-9113

栃木労働局からのお知らせ⑦（均等室）

平成26年度「均等・両立推進企業表彰」 栃木労働局長優良賞に2社を表彰！！

厚生労働省では、「職場における女性の能力発揮を促進するための積極的な取り組み」（ポジティブ・アクション）及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取り組み」について、他の模範となる取り組みを推進している企業を表彰しています。

栃木労働局では、平成26年度の「均等・両立推進企業表彰」均等推進企業部門において、栃木労働局長優良賞として、株式会社足利銀行及び株式会社東武宇都宮百貨店を表彰しました。

受賞された2社におかれては、ポジティブ・アクションに取り組む体制を整備し、女性の管理職登用に向けた研修等の実施、積極的なキャリア形成支援の充実などのポジティブ・アクションの取組によって、女性管理職が増加するなど成果がみられたことが選定の理由です。



<「均等推進企業部門」栃木労働局長優良賞 受賞企業>

◇ 株式会社足利銀行

「あしきん女性塾」を開催。管理職に占める女性割合が増加。

◇ 株式会社東武宇都宮百貨店

「女性活躍推進アクションプラン」を策定・実施。育児短時間勤務利用者の係長が誕生。



厚生労働省 栃木労働局雇用均等室 tel:028-633-2795 (<http://tochigi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)

とちぎ労基連トピックス①

栃木県リスクアセスメント等普及促進協議会定期総会及び好事例発表会が開催されました。

9月22日、栃木県建設産業会館において、栃木県リスクアセスメント等普及促進協議会平成26年度定期総会及び好事例発表会が開催されました。

総会では、事業報告・決算報告及び26年度事業計画・予算案のほか、26・27年度役員改選など提案した議案がすべて原案どおり承認されました。

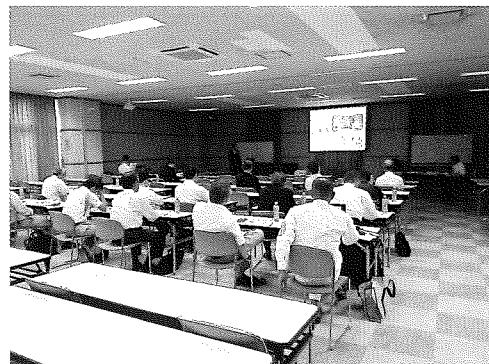
総会終了後、好事例発表会が行われ、平成25年度栃木労働局長優良賞を受賞された、オグラ金属株（発表者取締役常務執行役員真秀隆様）、昭和アルミニウム缶株小山工場（発表者製造部設備課アシスタントマネージャー星野祥一様）及び本田技研工業株品質改革センター栃木（発表者事業企画部総務ブロック技術主任グループリーダー増田義孝様）の3事業所から、各事業所におけるリスクアセスメント等の取組み状況について、事例発表をいただきました。

オグラ金属株は、足利市で自動車部品、アミューズメント部品等を製造する事業所ですが、全員参加のリスクアセスメント活動等を通じ、「汚い、暗い、きつい」3K職場から、「きれい、気持ち良い、快適」の3K職場に、そして「感謝、感激、感動」の新3K職場を目指しているということでした。

昭和アルミニウム缶株小山工場は、国産最初のアルミ缶を製造した大変歴史ある事業所ということですが、リスクアセスメントによる「危険点つぶし」や「黄エフ付け活動」の効果もあって、ここ3年間は不休災害もゼロを記録しているということでした。

※「黄エフ付け活動」不具合のある設備等について、発見した者の氏名や日時や、不具合の内容などを記載した荷札のような札をつけ、早急な改善に取り組む活動。

本田技研工業株品質改革センター栃木は、四輪自動車の安全性や環境適合性の確保などホンダのもの作りの重要な一角を担う事業所です



が、努力すれば災害は防げる」という従来の発想から、「災害は必ず起きる」という前提に立ち、安全衛生マネジメントシステムの一環として、設備のリスクアセスメントに加え作業に対するアセスメントを実施し、リスクの低減に取組んでいるということでした。

事例発表後、来賓としてお招きした栃木労働局労働基準部健康安全課長吉田正久様から、講評及び最近の行政の動きについてご説明をいただきました。

講評では、各社の事例発表の先進的な側面にそれぞれコメントされ、リスクアセスメントの一層の普及に期待を示されました。

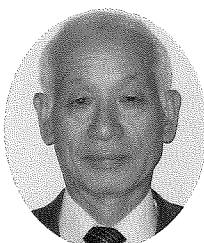
行政の動きに関しては、改正労働安全衛生法について、改正概要や施行スケジュールについて説明いただきました。

さらに、本年に入り死亡労働災害が増加し憂慮していたところ、8月以降も増加の勢いが止まらないことから、本総会当日の9月24日から本年12月15日までを実施期間として「緊急死亡労働災害撲滅運動」を展開することとしたとして、参加者に対し協力要請がありました。

死亡災害につながるようなリスクの低減は事業者にとって最優先の課題であることから、参加者は率先して上記運動に取り組むことの重要性を再確認する機会となりました。

とちぎ労基連トピックス②

労働衛生コンサルタントの岡本佳久氏が、緑十字賞を受賞されました。



労働衛生コンサルタント岡本佳久氏が、10月22日（水）に広島市で開催された中央労働災害防止協会主催の第73回全国産業安全衛生大会総合集会において、緑十字賞（労働衛生の推進）を受賞されました。

岡本氏は長年にわたり、当連合会の非常勤講師として労働衛生関係技能講習や、能力向上教育を担当いただいているほか、栃木産業保健推進センター（現栃木産業保健総合支援センター）の設立当初から、労働衛生工学担当の産業保健相談員として栃木県内の産業保健活動の発展に多大な貢献をされたことなどにより、中央労働災害防止協会長から緑十字賞を受賞されたものです。

まことにおめでとうございました。

とちぎ労基連トピックス③

中小企業無災害記録が達成されました

★★中小企業無災害記録証授与制度★★

中央労働災害防止協会が実施している中小企業無災害記録証授与制度において、平成26年9月以降、記録証を授与された事業場は表のとおりです。

無災害記録の達成おめでとうございます。

達成した事業場には中小企業無災害記録証（表彰状）と副賞（表彰盾）が授与されました。これからも無災害の継続にむけ一層の安全管理活動にお取り組み下さい。

なお、この制度について詳しくお知りになりたい場合は（一社）栃木県労働基準協会連合会（中災防から受託）にお問い合わせください。（028-678-2771）

住 所	事業場名	種 別	期 間	労働者数
小山市	株式会社小松電業所 小山工場	第四種（銀 賞）	平成20年4月8日 ～平成26年7月31日	69名

地区労働基準協会情報

(一社) 宇都宮労働基準協会 (028-633-4133)

- ①11月1日(土) 第5回安全衛生塾 (KYT実践研修)
（株）クボタ 宇都宮工場
- ②11月7日(金) 第2回安全未来ビジョン会議
宇都宮市文化会館第二会議室
- ③11月17日(月) 永年勤続従業員表彰式
コンセーレ
- ④11月18日(火) 宇都宮労基署管内主要事業場等座談会
パリティ とちぎ男女共同参画センター
- ⑤11月21日(金)・22日(土)
「動力プレスの金型等の取扱い」
取外し又は調整の業務 特別教育
21日：学科(株)クボタ宇都宮工場
22日：実技モリテックスチール(株)宇都宮工場
- ⑥12月5日(金)・6日(土)
「産業用ロボットの教示・
検査等の業務」特別教育
(株)クボタ 宇都宮工場
- ⑦1月22日(木)・23日(金)
第2回安全管理者選任時研修 栃木県護国会館
- ⑧1月29日(木) 労務管理講習会・特別な休暇制度セミナー
宇都宮市文化会館第一会議室

(一社) 足利労働基準協会 (0284-73-6660)

- ①11月8日(土) 粉じん作業特別教育 足利市民会館
- ②11月8日(土)・9日(日)・15日(土) アーク溶接作業特別教育 地場産センター
- ③11月12日(水)・13日(木) 有機溶剤作業主任者技能講習会への協力
足利市民プラザ
- ④11月26日(水) 足利地区産業安全衛生大会
足利市民プラザ
- ⑤12月3日(水) 労務管理部会 足利市民プラザ
- ⑥12月5日(金) 災害事例検討会 足利市民プラザ
- ⑦12月13日(土) リスクアセスメント実務研修会
地場産センター
- ⑧1月24日(土)・25日(日) 動力プレス特別教育 地場産センターほか
- ⑨1月29日(木) 労務管理セミナー並びに新春会員懇親会
足利市民会館

(一社) 栃木労働基準協会 (0282-24-7758)

- ①11月1日(土) 栃木地区THP推進協議会
「健康づくりウォーキング大会」
みかも山公園
- ②11月10日(月)・11日(火)
職長教育 栃木商工会議所
- ③11月13日(木) 荷主懇談会 ニューアプロニー
- ④11月25日(火) 栃木地区産業安全衛生大会
栃木市栃木文化会館
- ⑤12月4日(木) 自由研削といし取り換え等特別教育
栃木商工会議所
- ⑥12月11日(木) リスクアセスメント実務研修会
栃木商工会議所
- ⑦1月27日(火) 動力プレスの金型調整等特別教育
栃木商工会議所
- ⑧1月28日(水) 労務管理セミナー ニューアプロニー
- ⑨2月2日(火)・3日(水)
職長教育 栃木商工会議所

(一社) 佐野労働基準協会 (0283-24-6470)

- ①11月6日(木)～8日(土) 玉掛け技能講習 佐野市勤労者会館
- ②11月13日(水) 佐野地区安衛大会実行委員会
佐野市文化会館
- ③11月13日(水)・14日(木) 佐野プレス災防協 役員による全会員訪問
- ④11月27日(木) 佐野地区産業安全衛生大会
佐野市文化会館
- ⑤12月2日(火)・3日(水)
職長教育 佐野市勤労者会館
- ⑥12月10日(水) 労務管理セミナー 佐野市勤労者会館
- ⑦12月18日(木) 第4回理事会 佐野市勤労者会館

(一社) 鹿沼労働基準協会 (0289-62-8633)

- ①11月7日(金) 鹿沼地区産業安全衛生大会 福田屋鹿沼店
- ②11月19日(水) 総務部会 鹿沼市民情報センター
- ③11月19日(水) フォークリフト運転従事者安全衛生教育
(林災防栃木県支部協力)
鹿沼職業訓練センター
- ④11月21日(金) 中小零細規模事業場集団
リスクアセスメント研修(第1回)
鹿沼職業訓練センター
- ⑤11月26日(水) 理事会 鹿沼市民情報センター
- ⑥1月14日(水) 中小零細規模事業場集団
リスクアセスメント研修(第2回)
鹿沼職業訓練センター
- ⑦1月15日(木)・16日(金)
木材加工用機械作業主任者技能講習
(林災防栃木県支部協力)
鹿沼職業訓練センター
- ⑧1月16日(金) 労務管理講習会 福田屋百貨店
- ⑨1月16日(金) 鹿沼労働基準協会新年祝賀会
福田屋百貨店

(一社) 塩那労働基準協会 (0287-22-7100)

- ①11月7日(金) 塩那地区産業安全衛生大会 勝田屋
- ②11月27日(木)・28日(金) 第2回職長教育 県北体育館
- ③12月2日(火)・3日(水) はい作業主任者技能講習 県北体育館
- ④12月9日(火) リスクアセスメント担当者研修 県北体育館
- ⑤1月(時期未定) 北栃木新春名刺交換会 大田原市
- ⑥1月(時期未定) 那須塩原市新春賀詞交歓会 那須塩原市

日光労働基準協会 (0288-21-2047)

- ①11月13日(木) 日光地区産業安全衛生大会 あさの
 ②12月3日(水) リスクアセスメント担当者研修会 大沢公民館
 ③12月5日(金) 積卸し作業指揮者安全教育 (林災防査木県支部協力) 宇都宮市
 ④12月9日(火) 交通労働災害防止担当者教育 (林災防査木県支部協力) 宇都宮市
 ⑤1月15日(木)・16日(金) 木材加工用機械作業主任者技能講習 (林災防査木県支部協力) 宇都宮市
 ⑥1月22日(木) フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育 (林災防査木県支部協力) 宇都宮市

(一社) 真岡労働基準協会 (0285-82-5185)

- ①11月10日(月)・11日(火) 産業用ロボット特別教育 真岡市公民館西分館
 ②11月27日(木) 真岡地区産業安全衛生大会 フォーシーズン静風
 ③1月13日(火)・14日(水) 職長教育 真岡市公民館
 ④1月20日(火)・21日(水) 有機溶剤作業主任者技能講習(人財学園協力) 上三川町 人財学園
 ⑤1月20日(火) 特定粉じん作業特別教育 真岡市青年女性会館
 ⑥1月28日(水) リスクアセスメント実務研修 真岡市青年女性会館
 ⑦1月30日(金) 危険予知訓練(KYT)研修 真岡市公民館

お知らせ・・・・・・・・・・・・(独)労働者健康福祉機構 栃木産業保健総合支援センター 平成26年度 産業保健セミナー予定表 (平成26年12月~平成27年2月)

産業保健関係者や労務担当者の方々を対象に無料セミナーを開催しています。

日 程	セミナー等の内容	講 師	開催場所
1 12月4日(木) 15:00~17:00	労働衛生に係る安全衛生配慮義務と企業の責任	関係法令担当 大森良雄 相談員	MSCビル 5階共用会議室
2 12月5日(金) 15:00~17:00	メンタルヘルス事例検討会	メンタルヘルス担当 遠乗秀樹 相談員	MSCビル 5階共用会議室
3 12月11日(木) 15:00~17:00	作業関連疾患の予防と管理	産業医学担当 倉富靖子 相談員	MSCビル 5階共用会議室
4 12月12日(金) 14:00~16:00	現代型うつ病 事例と対応	カウンセリング担当 坂寄和弘 相談員	MSCビル 5階共用会議室
5 12月18日(木) 15:00~17:00	社内における労働衛生教育の在り方	労働衛生工学担当 秋葉一好 相談員	MSCビル 5階共用会議室
6 1月13日(火) 14:00~16:00	新入社員の心とからだのセルフケア支援	保健指導担当 高橋由紀子 相談員	MSCビル 5階共用会議室
7 1月15日(木) 15:00~17:00	職場の喫煙対策	産業医学担当 森島 真 相談員	MSCビル 5階共用会議室
8 1月16日(金) 15:00~17:00	メンタルヘルス事例検討会	メンタルヘルス担当 遠乗秀樹 相談員	MSCビル 5階共用会議室
9 1月21日(水) 15:00~17:00	特定化学物質作業による健康障害の防止対策	産業医学担当 湯川 悟 相談員	MSCビル 5階共用会議室
10 1月22日(木) 15:00~17:00	復職支援と産業医の役割	産業医学担当 杉澤誠祐 相談員	MSCビル 5階共用会議室
11 1月28日(水) 15:00~17:00	職場における腰痛予防対策	産業医学担当 小林 淳 相談員	MSCビル 5階共用会議室
12 2月3日(火) 14:00~16:00	職場の人間関係向上で、『メンタルヘルス対策』へ	カウンセリング担当 岡本由利子 相談員	MSCビル 5階共用会議室
13 2月6日(金) 15:00~17:00	メンタルヘルス事例検討会	メンタルヘルス担当 遠乗秀樹 相談員	MSCビル 5階共用会議室
14 2月12日(木) 15:00~17:00	労働安全衛生法令上の職場巡視の留意点	関係法令担当 大森良雄 相談員	MSCビル 5階共用会議室
15 2月19日(木) 15:00~17:00	春夏秋冬の産業衛生管理	産業医学担当 倉富靖子 相談員	MSCビル 5階共用会議室
16 2月27日(金) 14:00~16:00	セルフケア 認知行動療法の基礎	カウンセリング担当 坂寄和弘 相談員	MSCビル 5階共用会議室

* 定 員 : 30名 (先着順)

* 費 用 : 無料

* セミナー内容 : 当センターホームページをご覧ください <http://www.tochigisanpo.jp/>

* 会 場 : 開催場所に記載 会場の住所は次のとおり

・MSCビル (宇都宮市大通り 1-4-24, 栃木産業保健総合支援センター入居ビル)

* 後 援 : 栃木労働局 ・ 各労働基準監督署

* お申しつけは FAX 028-643-0695 Eメール info@tochigisanpo.jp

* お問合せは 栃木産業保健総合支援センター TEL 028-643-0685

* 日程・開催場所等変更の場合には、ホームページ、メールマガジン等でお知らせいたします

研修日程、研修内容など早期情報入手は便利なメールマガジン登録を!

◆お問い合わせ先 独立行政法人労働者健康福祉機構 栃木産業保健総合支援センター TEL 028-643-0685

平成26年度各種技能講習等実施計画表

栃木労働局長登録教習機関 (一社) 栃木県労働基準協会連合会

実施月日	講習科目等	会場	受付締切
11 8(土) 10(月)～11(火) 17(月) 20(木)～21(金) 25(火)～26(水)	出張特別試験（関東安全衛生技術センター主催）	宇都宮大学	9/10(水)
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習④	建設産業会館	10/27(月)
	残留リスクから始める機械災害防止対策研修（中災防）	〃	11/4(火)
	乾燥設備作業主任者技能講習③	〃	11/6(木)
	有機溶剤作業主任者技能講習⑧	〃	11/11(火)
12 1(月)～2(火) 8(月)～10(水) 15(月)～16(火)	衛生管理者能力向上教育	建設産業会館	11/17(月)
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習⑤	〃	11/25(火)
	有機溶剤作業主任者技能講習⑨	〃	12/1(月)
1 19(月)～20(火) 26(月)～27(火)	プレス機械作業主任者技能講習③	〃	1/8(木)
	有機溶剤作業主任者技能講習⑩	〃	1/13(火)
2 2(月)～3(火) 12(木)～13(金) 16(月)～18(水) 23(月)～24(火)	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習⑤	建設産業会館	1/19(月)
	栃木KYTトレーナー研修②（中災防主催）	〃	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習⑥	〃	2/2(月)
	有機溶剤作業主任者技能講習⑪	〃	2/9(月)
3 3(火) 16(月)～17(火)	安全管理能力向上教育	建設産業会館	2/17(火)
	有機溶剤作業主任者技能講習⑫	〃	3/2(月)

受講申込案内

◆申込方法・申込用紙につきましては当連合会のホームページに詳細・書式がございますので、最新のものをダウンロードしてご利用下さい。

※インターネットがご利用できない方は直接お問い合わせ下さい。

URL【<http://www.tochikiren.or.jp>】

(一社) 栃木県労働基準協会連合会 (平日 9:00～17:00 土日祝は休業)

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町 1958-1 栃木県建設産業会館 4階

TEL: 028-678-2771 FAX: 028-678-2775 Email: info@tochikiren.or.jp

衛生管理者能力向上教育のご案内

衛生管理者制度は昭和22年に労働基準法（旧労働安全衛生規則）に規定されてから、昭和47年の労働安全衛生法の施行を経て、平成元年に第一種衛生管理者免許、第二種衛生管理者免許に分化され、一貫して日本独自の制度として、事業場内の労働衛生水準の向上に大きく貢献してきました。

その選任率は全業種で86%以上、大規模事業場においてはほぼ100%といわれております。しかし、衛生管理者免許は更新制度がないために、資格取得後の労働衛生分野の最新の情報や衛生管理の知識の取得が困難でもありました。

当連合会では、年1回ですが、労安法第19条の2における事業者の衛生管理者の教育義務に対応した「衛生管理者能力向上教育」を下記のとおり開催いたします。HP等で確認の上、お申込みください。

記

- 1 (日時) 平成26年12月1日(月)・2日(火)
- 2 (会場) 栃木県建設産業会館4階大会議室
- 3 (対象・定員) 第一種衛生管理者免許を取得後、概ね5年以上の方、 100名
- 4 (科目ほか) 労働衛生管理の機能と構造など、合計13時間
- 5 (修了証等) 全科目修了者に修了証を交付します
- 6 (申込等) 11月17日(月)までに当連合会へ(電028・678・2771)